

2007 年 1 月 5 日

株式会社みずほコーポレート銀行

天津支店開設準備認可の取得について

株式会社みずほコーポレート銀行(頭取:齋藤 宏)は、中国銀行業監督管理委員会宛に提出していた中華人民共和国天津市濱海新区における支店設置申請が2006年12月31日付で、同地区の外銀支店としては初めて正式に受理されました。当行の中国現地法人銀行設立申請が2006年12月22日付で認可(批准)済みであることを受け、2007年度上期中の支店開設を目指し、具体的な準備作業を開始致します。

天津濱海新区は、中国の第11次5ヵ年計画(2006年～2010年)において国家プロジェクトとしての位置付けが明確となり、今後の経済発展が大いに期待されるとともに、同地域への投資案件がますます増加することが見込まれています。

当行は、天津経済技術開発区(通称‘TEDA’)と2006年7月に業務協力協定を締結し、日系企業の投資誘致支援等を行ってまいりましたが、今後急増する日系企業の進出支援と取引拡大を目的として、天津市濱海新区に支店を設置することとしたものです。

現在、当行は、中国(除く台湾・香港)において5支店5駐在員事務所のネットワークを有しており、中国(除く台湾・香港)6番目の天津支店を加えた邦銀最大級のネットワークを構築することで、お客さまの事業展開を万全の形でサポートする体制を整えてまいります。

<ご参考>

天津濱海新区概要

- 濱海新区は、天津市東部の臨海地域に位置し、面積が¹2,270km²、海岸線 153kmに及ぶ広大なエリアであり、常住人口は約 135 万人
- 幅広い産業基盤が確立しており、自動車、化学、電子機器等で大規模な投資案件が多く、今後も各種インフラ整備、制度的優遇策が開示されるに従って、日系企業の投資の更なる増加が期待出来る地域

以上